

OpenRTM-aist (C++) - 整備 #4569

Linux環境でのネームサービス開始・終了がRTSEのボタン操作でも動くように整える

2018/07/17 04:11 - n.kawauchi

| | | | |
|--|------------|-------|------------|
| ステータス: | 解決 | 開始日: | 2018/07/17 |
| 優先度: | 通常 | 期日: | |
| 担当者: | n.kawauchi | 進捗率: | 100% |
| カテゴリ: | | 予定工数: | 0.00時間 |
| 対象バージョン: | RELENG_1_2 | | |
| 説明 | | | |
| <ul style="list-style-type: none">• #4546 にてネームサービス終了用スクリプトを定義した• これらのスクリプト (rtm-naming, kill-rtm-namng) をコマンドラインで手動実行した場合と、RTSEのボタン操作で実行された場合でどちらでも、手動とボタン操作の組合せでも、動くように整備する | | | |

履歴

#1 - 2018/07/17 10:02 - n.kawauchi

- ステータス を 新規 から 解決 に変更
- 進捗率 を 0 から 100 に変更

- r3391 にて対応完了
 - RTSEのボタン操作でネームサービスを開始する際、omniNamesのlog.dat,bakファイル削除に失敗するので、sudoで実行するようにした
 - スクリプトのオプションで指定されたパスワードが、処理に渡っていない箇所があったので修正した
 - RTSEのボタン操作でネームサービスを終了する際、2809のポート使用状況を調べるnetstatのオプションでaを指定していたため、2809へ接続しているJavaの情報が含まれてしまい、間違った判定をしていた。aではなくl(--listening)オプションへ変更することでJavaが含まれなくなった。
 - netstatにて2809ポートを使用しているomniNamesを確認するため、sudoでnetstatを実行するようにした
 - 上記修正で、Ubuntu18.04環境でもomniNamesが自動起動するようになった
 - Ubuntu18.04の場合、/var/lib/omniorb/下にomninames-ubuntu1804-64.dat .log ファイルが存在していると自動起動できなかった
 - 上記ファイルを手動で削除後にOSをrebootすると自動起動できていた
 - rtm-namingスクリプトで、sudoで上記ファイルを削除するようになったので、自動起動できるようになった
 - Ubuntu18.04での動作確認結果（OS起動直後からの操作）
 - openrtplはrtmtoolsのr893でdebパッケージを生成・インストール
- 0) OpenRTP起動時、NS追加ボタン押下
- NS Viewにlocalhostが表示される。omniNamesプロセス確認。
- 1) NS終了ボタン押下
- NS Viewのlocalhost表示は消え、omniNamesプロセスも終了。
- 2) NS開始ボタン押下
- NS Viewにlocalhost表示される。omniNamesプロセス確認。
- 3) NS終了ボタン押下
- NS Viewのlocalhost表示は消え、omniNamesプロセスも終了
- 4) 手動でrtm-naming実行
- ```
$ rtm-naming
```
- NS Viewでネームサーバ追加ボタンでlocalhostが表示され、omniNamesプロセス確認
- 5 ) NS終了ボタン押下
- NS Viewのlocalhost表示は消え、omniNamesプロセスも終了
- 6 ) NS開始ボタン押下
- NS Viewにlocalhost表示される。omniNamesプロセス確認。
- 7 ) 手動でkill-rtm-naming実行
- ```
$ kill-rtm-naming
```
- NS Viewのlocalhost表示は消え、omniNamesプロセスも終了

- 機能修正 r3392-3393 にて対応完了 (Ubuntuで動作確認)
 - ネームサービス終了は、rtm-naming -k で実行するように修正
 - ネームサービス終了後に改めて開始する場合は、「rtm-naming」「sudo systemctl start omniorb4-nameserver.service」のどちらを実行してもOK
 - この対応のため、終了時は次の処理を行っている
 - /etc/init.d/omniorb4-nameserver stop を実行
 - /var/run/omniNames.pid 削除
 - omninamesのbak,log,darファイル削除 (スクリプト実行ディレクトリと/var/lib/omniorb下)
 - rtm-namingでネームサービスを開始する場合、2段階の開始処理を行っている。ネームサービスの「開始」「終了」「開始」
 - 開始は、/etc/init.d/omniorb4-nameserver start を実行
 - Ubuntu16.04の場合は最初の「開始」でomniNamesプロセスが起動するので処理を抜ける
 - Ubuntu18.04で、omniorb4-nameserver.serviceは起動するがomniNamesプロセスは起動しない場合は、「終了」処理へ進みpidやdatファイル等を削除する。
この後に「開始」処理を行い、omniNamesプロセスが起動する。
 - RTSEのボタン操作でもこれらの動作を確認